

令和 2 年 11 月 北秋田市長記者会見

令和 2 年 11 月 30 日（月）午前 11 時 30 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 令和 2 年北秋田市議会 12 月定例会について・・・資料 1
2. コロナ禍における地域経済活性化に向けた取組状況について・・・資料 2
3. 日本海沿岸東北自動車道「大館能代空港 IC から蟹沢 IC 間」の
開通について
4. 株式会社秋田銀行阿仁合支店の社員用住宅の寄附について
5. 移住・定住支援室の移転について

その他

- ・ 12 月の行事予定

1. 令和2年北秋田市議会12月定例会について

本日、令和2年北秋田市議会12月定例会を12月10日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」をはじめとする条例案が3件、補正予算案関係が8件、「秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について」をはじめとする単行議案が3件の計14件の提案を行うことといたしております。

概要につきましては、さきほど行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせていただきますが、特に一般会計補正予算案について説明させていただきますと、既定の予算の総額に1億216万2千円を追加して、予算の総額を292億2,378万6千円とすることとしたものであります。

一般会計補正予算案の主な歳出といたしましては、

○秋田北鷹高等学校女子全国高等学校駅伝競走大会出場補助金として

500千円

○ふるさと納税事業として

23,943千円

○湯ノ岱温泉揚湯ポンプ取替修繕として

2,277千円

○コロナにより中止となった主な事業に係る不用額として

△40,591千円

を計上いたしております。

2. コロナ禍における地域経済活性化に向けた取組状況について

新型コロナウイルス感染拡大により大きく打撃を受けている地域経済・地域社会を支えるため、緊急経済対策として夏に実施したスーパープレミアム付応援チケット事業を再度実施しております。

同じく宿泊者半額応援事業につきましても、冬季における観光需要の喚起を図るため、明日からの実施を予定しております。

本日は、その取組状況についてお知らせいたします。

年末年始の消費が活発に動く時期に合わせ実施しております冬のスーパープレミアム付応援チケットについては、1セットあたり7,500円分のチケットを5,000円、1世帯10セットまでと購入しやすい設定として、10月30日まで購入申込を受け付けいたしました。

対象世帯中(13,995世帯)、半数を超える7,239世帯から63,654セットの申し込みがありました。

11月18日より販売が始まり同日から利用可能となっておりまして、27日現在で約92%(58,584セット)のチケットが既に購入されております。

取り扱い店舗については、11月27日現在、前回を上回る450店舗からご協力いただき、幅広い業種において来年1月31日までご利用いただけます。

次に、こちらも夏に引き続いて実施となります宿泊者半額応援事業についてであります。

今回は市内16の宿泊施設で、12月1日から2月28日を宿泊有効期間としまして、大変お得なプランを取り揃えて実施いたします。

本格的な冬を迎える1月からは、日本三大樹氷の「森吉山樹氷鑑賞」や、阿仁スキー場では、全国屈指のパウダースノーでスキーやスノーボードといったウインタースポーツを楽しむことができます。

市民の皆様はもちろんのこと、県外のお客様も半額対象となっておりますので、ご家族やお友達などお誘いあわせの上、多くの皆様にご利用いただきたいと思います。

ただし、11月に入ってから第3波を思わせる新型コロナウイルスの感染の広がりは予断を許さない状況が続いており、今後の状況によっては、大きく取組みを方向転換する必要がありますが、感染拡大に細心の注意を払い、地域経済活性化に向け取り組んでまいります。

3. 日本海沿岸東北自動車道「大館能代空港 IC から蟹沢 IC 間」の 開通について

皆様もご案内のとおり、日本海沿岸東北自動車道の「大館能代空港 IC から蟹沢 IC 間」が 12 月 13 日日曜日の午後 3 時に開通を迎えます。

待ち望んだ開通の喜びを地域の皆様と分かち合うとともに、これまで開通に向けてご尽力いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

当区間は、ユネスコ世界文化遺産登録を目指しております「伊勢堂岱遺跡」に直結するルートであり、国道 7 号にも接続することから、観光や産業振興、あるいは企業誘致や雇用確保の面においても大変重要と捉えており、開通を心待ちにしておりました。

これにより、大館能代空港と連携した高速交通網が更に充実することとなりますので、伊勢堂岱遺跡を中心とした広域観光周遊ルートの形成や、物流拠点としての機能強化による地域経済の発展、高次医療圏域へのアクセス向上など、多くの効果が見込まれております。

今後とも、他の地域との連携を深め、全区間の早期開通に向けた要望活動を継続しながら、日沿道延伸がもたらす様々な効果を最大限に活かす施策を展開することで、活力ある北秋田市をつくってまいりたいと考えております。

4. 株式会社秋田銀行阿仁合支店の社員用住宅の寄附について

今月上旬、秋田銀行阿仁合支店が、地域から惜しまれながらその歴史に幕を下ろし、鷹巣支店に移転集約されましたが、同行が阿仁合地区に所有している社員用住宅3棟について、その敷地も含め、北秋田市に対し、無償で譲渡してくださる運びとなりましたのでお知らせいたします。

秋田銀行様には、当市と平成28年6月に締結しております「地方創生プロジェクト推進連携協定」に基づき、多方面から地域活性化にご貢献いただいているところでありますが、このたびの寄附物件につきましては、特に移住定住施策の推進に向け、近年増加傾向にある移住者及び移住希望者の住宅など、秋田銀行様の意向に沿う形で有効活用してまいりたいと考えております。

<参考>

○寄附物件（契約月日：令和2年11月27日）

土地の所在	登記地目	地積（㎡）
北秋田市阿仁銀山字下新町8番	宅地	362.83
北秋田市阿仁銀山字下新町57番1	宅地	382.93
北秋田市阿仁銀山字上新町64番2	宅地	365.81

建物の所在及び構造	種類	床面積（㎡）
北秋田市阿仁銀山字下新町8番地 木造亜鉛メッキ鋼板ぶき平屋建	居宅	86.95
	物置	7.45
	車庫	29.81
北秋田市阿仁銀山字下新町57番地1 木造亜鉛メッキ鋼板ぶき平屋建	居宅・車庫	107.65
北秋田市阿仁銀山字上新町64番地2 木造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建	居宅	①52.99 ②26.49
	物置・車庫	①11.96 ②7.22

5. 移住・定住支援室の移転について

これまで本庁舎 2 階の総合政策課内にありました「移住・定住支援室」について、明日 12 月 1 日から本庁舎食堂側の 2 階へ移転することとなりますのでお知らせいたします。

移転先の執務室には、広いテーブルが用意され、ゆっくりと相談できる環境が整っておりますほか、オンラインによる相談スペースも確保されており、よりきめ細やかな対応が可能となっております。

平成 30 年 4 月から移住・定住支援室を設置し、特に若い世代の移住定住に力を入れて取り組んでまいりましたが、過去 3 年（H29・H30・R1）の移住者累計数は、110 世帯 148 人となっており、各支援策の実施や受け入れ態勢の整備充実などが成果として表れております。

更に取組みを強化するため、今年に入り、移住定住関係の地域おこし協力隊を新たに 4 人増員し、総勢 6 人体制として、地域の魅力を戦略的に発信しております。

長引くコロナ禍は、地域社会・経済に甚大な影響を及ぼしておりますが、一方で、東京一極集中の流れが見直され、都市部から地方への移住、二拠点居住に対する関心の高まりなど、人々の意識に変化をもたらした側面もあります。

人口減少の抑制が課題となっている本市にとりましては、今の世の中の動きに素早く反応し、スケールアップした地域おこし協力隊の皆さんと共に、引き続き、移住定住対策に全力を注いでまいりたいと考えております。

< 参考 >

○過去 3 年の移住者数

H29 : 36 世帯 / 43 人

H30 : 28 世帯 / 41 人

H31 : 46 世帯 / 64 人

計 110 世帯 / 148 人

避難所用の「ワンタッチ間仕切り」と「ダンボールベッド」の導入について (お知らせ)

(会場の後ろをご覧ください。)

このたび、避難所におけます新型コロナウイルス感染症対策として、「ワンタッチ間仕切り」と「ダンボールベッド」を導入いたしましたのでお知らせします。

導入する数量については、

- ・ダンボールベッド 330 台
- ・ワンタッチ間仕切り（屋根なし） 330 基
- ・ワンタッチ間仕切り（屋根あり） 40 基

となっております。

3つの密が発生しやすい避難所におけます避難者間の飛沫感染防止や衛生対策を目的としまして、ご覧になっていただいております備品の導入を決定いたしました。各地域に分散保管して、有事に備えてまいりたいと思っております。

<参考>

＊令和2年北秋田市議会第4回臨時会（8月24日）で係る予算が可決。

○契約概要（いずれも契約月日は10月5日）

（1）ダンボールベッド／2,728,000円（税込）／1台≒8,200円

（2）ワンタッチ間仕切り／12,298,000円（税込）／

〃 屋根なし1基≒29,000円

〃 屋根あり1基≒48,000円

令和 2 年 11 月 市長記者会見質疑応答

2020.11.30 11:30～ 本庁舎大会議室

マスコミ各社、広報係

市長、副市長、総務部長、財務部長、総務課長

総務係長、総務係 畠山、堀内

Q) 魁) 秋田銀行阿仁合支店の社員用住宅 3 棟の場所はどこになるか。

A) 市長) 詳細については、担当に確認されたい。阿仁庁舎からほど近い場所に 2 棟、万来すしさんの近くに 1 棟。

Q) 魁) 寄附物件の活用方法は既に決まっているか。

A) 市長) 秋田銀行さんの意向に沿う形で、移住定住関係に活用したいと考えているが、詳細については未定。今後、詰めていくこととなる。

Q) 北鹿) 寄附物件は既に譲り受けたか。

A) 市長) はい。(契約月日：令和 2 年 11 月 27 日)

Q) 北鹿) スーパープレミアムチケットについて、申込が好調のようだが、販売価格の引き下げが要因と考えるか。

A) 市長) はい。夏の実施を検証し、市民の皆様からのご意見を聞きながら、セット価格を 5,000 円としたことが、売れ行きの好調に繋がっている。また、早い段階から周知ができたことも、要因の一つ。また、年末年始の出費がかさむ時期に、幅広く使用できるチケットは、使い勝手が良く、市民の皆様のお役に立てると思う。

Q) 北鹿) ふるさと納税事業が増額補正されているが、返礼品代としてか。

A) 市長) はい。令和元年の寄附金額の実績は 2,700 万円ほど。今年は、既に申込金額で昨年実績を超えている。12 月は更に申込が大幅に増えると見込んでいる。

Q) 北鹿) ふるさと納税が増えている要因は。

A) 市長) 申込サイトを 2 つ増やしたことが大きい。(楽天ふるさと納税、ふるさとプラス)。返礼品の商品も今年新たに 162 点追加し、ラインナップも充実された。米の定期便も人気が高い。

うれしい悲鳴ではあるが、今年は応援して下さる方が急激に増えたおかげで、お礼状の自署も大変になってきた。